

2024 年度 学校関係者評価委員会報告書

学校法人マヤ学園 島根デザイン専門学校

学校関係者評価委員会

学校法人マヤ学園 島根デザイン専門学校 学校関係者評価委員会は「2023 年度学校自己評価報告書」の結果に基づいて学校関係者評価を 2024 年 6 月 20 日(木)に実施したので、下記のとおり報告します。

1. 学校関係者評価委員

名 前	所 属
持田 伸吾(委員長)	卒業生：合同会社チェリー 代表
内藤 貴明	バンケットサービス株式会社 取締役社長
落合 孝行	一般社団法人おくいずもん 代表理事
漆谷 清美	保護者：島根デザイン専門学校 教育助成会 会長

2. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、年度末に実施した「学校自己評価報告書」を 2023 年度学校関係者評価委員会にて学校関係者評価委員の皆様にご説明し、学校自己評価の各項目に対するご意見と評価をとりまとめた。

評価結果は、今後の本校における教育活動や学生指導等の学校運営の改善にいかし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表します。

3. 2023 年度学校自己評価における学校関係者評価

評価 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない
NA. 当てはまらない

2024年度学校関係者評価委員評価一覧

評価 5. 良い 4. やや良い 3. 普通 2. やや悪い 1. 悪い 0. 不明

基準1 教育理念・目的・育人人材像など

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
1-1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	3.75	4.50	
1-2 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.81	4.50	
1-3 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3.72	4.50	

基準2 学校運営

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
2-4 理念等に沿った運営方針を定めているか	3.40	4.00	
2-5 理念等を達成するための事業計画を定めているか	4.00	4.00	
2-6 学校運営のための組織を整備しているか	3.00	4.25	
2-7 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.25	4.00	

基準3 教育活動

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
3-8 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.45	4.33	
3-9 教育課程について、企業など外部の意見を反映しているか	3.88	4.50	
3-10 学生等による授業評価を実施しているか	3.50	4.00	
3-11 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.92	5.00	
3-12 教員の資質向上への取り組みを行っているか	3.71	4.33	

基準4 教育成果

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
4-13 就職率の向上が図られているか	3.63	5.00	
4-14 国家試験合格率の向上が図られているか	3.43	4.50	

基準5 学生支援

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
5-15 退学率の低減が図られているか	4.00	5.00	
5-16 学生相談に関する体制を整備しているか	3.89	4.67	
5-17 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.56	4.33	
5-18 課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.78	4.33	
5-19 保護者との連携体制を構築しているか	3.60	5.00	

基準6 教育環境

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
6-20 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.83	4.50	
6-21 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.00	5.00	

基準7 学生の募集と受け入れ

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
7-22 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	2.86	5.00	
7-23 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	2.33	4.50	
7-24 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.33	4.67	

基準8 財務

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
8-25 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.00	4.00	
8-26 私立学校法及び審判行為に基づき、適切に監査を実施しているか	3.50	5.00	
8-27 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4.00	5.00	

基準9 法令等の遵守

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
9-28 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4.20	4.50	
9-29 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.89	5.00	
9-30 自己評価や学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4.00	4.00	
9-31 自己評価結果や学校関係者評価結果を公表しているか	3.67	4.00	
9-32 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.67	4.00	

基準10 社会貢献

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
10-33 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.11	4.67	
10-34 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4.20	4.00	

基準11

点検項目	学校評価	委員評価	問題点・改善事項
11-35 留学生の受け入れへの戦略について	5.00	5.00	
11-36 留学生の受け入れへの実施状況について	3.11	4.75	
11-37 留学生の学習体制及び評価・生活指導についての学内指導体制	3.00	4.33	
11-38 学習成果の国内外での評価体制	3.50	4.00	
平均	3.62	4.49	

令和5年度より、学校法人第一平田学園から学校法人マヤ学園に運営が変わり、運営年度の評価としては、初めての評価となる。

- ・上記11項目に対し、学校自己評価の平均は3.62(5段階評価)、委員による評価の平均は4.49であった。
- ・学校自己評価より約0.87ポイント委員評価の方が高い結果となった。
- ・昨年度と比較し、学校自己評価が0.01改善し、委員評価は、0.79改善した。

令和5年度の総学生数が10名から43名へと飛躍的に学生数が増加したことに対し、委員から期待のコメントや、卒業後に学校所在地である奥出雲町や島根県への就職・定住できるような仕組み作りの提言があった。
特に、令和6年度になり、学生数増加に伴う、奥出雲町の賑わいが増え、町内からも本校が注目されている旨の共有があった。

学校自己評価と委員評価の目立った乖離として、①「7-22 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか」②「7-23 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか」③「11-36 留学生の受け入れへの実施状況について」が挙げられ、集中して議論を行った。
内容を正しく把握する為、本委員会の前に、①②③の項目の背景を学園へ確認を行った後、事前情報として、「令和5年度において、日本人と留学生の募集方法や選考についての様々な議論」があった旨、委員に共有した。

以下、委員会の提言とする。

- ・日本人や留学生の入学基準を適正に定めていくことも重要ではあるが、入学した後のクラス分けや細かいフォローを行うことを奨励する。
- ・学生募集においては、高校や日本語学校の訪問回数を増やし、進路指導の担当者などから、本校を学生に紹介して頂ける流れを確立させること。
- ・同じ町内の島根リハビリテーション学院の様に、奥出雲町内の高校からの進学率を高め、奥出雲町内での進学経路を早期に確立させること。